

令和2年度事業報告書

公益社団法人第9期（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

2021年6月26日総会提出

公益社団法人日本地理学会が定款に定める事業の概要は以下の通りである。

- ① 研究発表会、学術講演会等の開催による地理学研究の推進事業（定款4条1号）
- ② 学会誌及びその他の刊行物の発行による地理学研究の普及事業（定款4条2号）
- ③ 関連学会等との連携及び協力並びに社会連携・社会教育の推進事業（定款4条3号）
- ④ 研究の奨励及び研究業績の表彰による学術の発展と科学技術の振興事業（定款4条4号）
- ⑤ 資格認定、地理教育の支援等による地理学的知識・技術の普及及び社会貢献事業（定款4条5号）
- ⑥ 地理学に関連する国際的な研究協力の推進事業（定款4条6号）
- ⑦ その他目的を達成するために必要な事業（定款4条7号）

I 事業の状況

- ① 研究発表会、学術講演会等の開催による地理学研究の推進事業（定款4条1号）

1) 研究発表会等

集 会 名	開催年月日	参 加 者
(1)秋季学術大会(オンライン)	2020年10月10日～11月22日	1,142名
セッション（4件・52）、ポスター発表（73）、シンポジウム(7件・41)	10月18日～11月22日	
高校生ポスターセッション（13）	10月10日～11月22日	210名
(2)春季学術大会(オンライン・東洋大学)	2021年2月23日～3月28日	2,166名
口頭発表（96）、ポスター発表（52）、シンポジウム(4件・30)	3月26日～3月28日	
高校生ポスターセッション（30）	2月23日～3月28日	292名

2) 総会等

- | | | | | |
|----------|--------------|--------|--------|--------|
| (1) 定時総会 | 2020年6月27日 | 出席者3名 | 委任状94名 | 合計 97名 |
| (2) 代議員会 | 2020年12月5日 | 出席者70名 | | 合計 70名 |
| (3) 理事会 | 5回・常任理事会 12回 | | | |

- ② 学会誌及びその他の刊行物の発行による地理学研究の普及事業（定款4条2号）

1) 学会誌の刊行

- (1) 「地理学評論（Geographical Review of Japan Series A）」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数
令和2年 5月1日	93	3	3,500部
令和2年 7月1日	93	4	3,500部
令和2年 9月1日	93	5	3,500部
令和2年 11月1日	93	6	3,500部
令和3年 1月1日	94	1	3,500部
令和3年 3月1日	94	2	3,500部

計6冊（93巻3号～94巻2号）458ページ

総説1編、論説7編、短報9編、書評26編、学会記事等を掲載した。

- (2) オンライン学会誌「Geographical Review of Japan Series B」（J-STAGE 公開）を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号
令和2年 12月8日	93	1
令和2年 3月31日	93	2

計2冊(93巻第1号・93巻2号電子ジャーナル) 75ページ

93巻1号には、Article of the Special Issue on the 14th Japan-Korea-China Joint Conference on Geography 1編、Report of the Special Issue on the 14th Japan-Korea-China Joint Conference on Geography 1編、短報1編、書評1編を掲載した。93巻2号には、論説2編、短報1編を掲載した。

(3) オンライン学会誌「E-journal GEO」を下記の通り発行した。

発行年月日	巻	号
令和2年 6月18日	15	1
令和2年 12月25日	15	2
令和3年 3月31日	16	1

計3冊(15巻1号～2号、16巻1号・電子ジャーナル) 450ページ

15巻1号には、調査報告1編、提言1編、解説記事1編、地理紀行1編、斎藤功研究助成成果報告書1編、15巻2号には、調査報告12編、提言1編、解説記事1編、地理紀行1編を掲載した。16巻1号には、調査報告4編、提言1編、解説記事2編、地理教育総説記事1編、シンポジウム報告7編、G空間 EXPO シンポジウム1編を掲載した。

2) その他の刊行物の刊行

「日本地理学会発表要旨集」を下記のとおり発行した。

発行年月日	号	発行部数
令和2年 9月23日	98	500部
令和3年 3月10日	99	450部

計2冊(98号～99号) 353ページ

③ 関連学会等との連携及び協力並びに社会連携・社会教育の推進事業(定款4条3号)

- 1) 地理関連学会連合に加盟し、代表を送り、事務局を務めた。
- 2) 地理学連携機構に加盟し、代表委員を送った。
- 3) 日本地球惑星科学連合に加盟し、代表を学協会長会議および学協会連絡委員会に送るとともに、関連する委員会に必要に応じて委員を送った。
- 4) 人文・経済地理関連学会協議会に加盟し、代表委員を送った。
- 5) 自然史学会連合に加盟し、代表を送った。
- 6) 日本ジオパーク委員会活動に協力し、委員を送った。
- 7) 防災学術連携体に参加し、代表を送った。
- 8) 以下の15件について、他学会との交流を行った。

(1) 2020年日本地球惑星科学連合大会

2020年7月12日(日)～16日(木)にオンライン大会として開催された。

国際セッション:「Geographic Information Systems and Cartography」、 「Environmental Remote Sensing」、一般セッション: 「地理情報システムと地図・空間表現」、「環境リモートセンシング」、「ジオパーク」、「災害リスク統合研究の充実」、「人間の社会活動と地球惑星科学」(共催)

(2) 第7回「震災対策技術展」大阪(後援)

2020年10月14日(水)～15日(木)にコングレコンベンションセンターにおいて開催された。

(3) 空間情報シンポジウム2020(後援)

2020年8月末よりオンラインで開催された。

(4) 鳥取県「第22回児童生徒地域地図発表作品展」(後援)

2020年10月12日(月)～12月19日(土)に鳥取市歴史博物館(やまびこ館)、倉吉未来中心、とりぎん文化会館において巡回展示が開催された。

(5) 2020年度「初等中等教育におけるGISを活用した授業に係る優良事例表彰」(後援)

2020年10月24日(土)に初等中等教育現場において、GISを実践的に活用した授業に取り組んでいる教員に対し、オンラインで表彰が行われた。

(6) 岐阜県「第26回児童生徒地域地図作品展」(後援)

2020年10月24日(土)～11月15日(日)に岐阜県図書館において開催された。

(7) GPS/GNSS シンポジウム 2020 (協賛)

2020 年 10 月 28 日 (水) ～30 日 (金) にオンラインで開催された。

(8) GIS day in 伊勢 2020 (後援)

2020 年 10 月 31 日 (土) にオンラインで開催された。

(9) 旭川市「第 30 回私たちの身のまわりの環境地図作品展」(後援)

2020 年 10 月 31 日 (土) ・11 月 1 日 (日) に旭川市科学館サイパルにおいて開催された。

(10) 第 34 回地図地理検定 (後援)

2020 年 11 月 8 日 (日) に開催された。

(11) GIS day in 東京 2020 (後援)

2020 年 11 月 22 日 (日) にオンラインで開催された。

(12) GIS day in 中国 2020 (後援)

2020 年 12 月 11 日 (金) にオンラインで開催された。

(13) 第 24 回全国児童生徒地図優秀作品展 (後援)

2021 年 1 月 5 日(火)～3 月 8 日(月)に地図と測量の科学館、国土交通省 1 階展示コーナー、科学技術館 4 階ギャラリー、NHK 大阪放送会館アトリウムにおいて開催された。

(14) 第 11 回防災学術連携シンポジウム「東日本大震災からの十年とこれから—58 学会、防災学術連携体の活動—」

2021 年 1 月 14 日にオンラインで開催された。

(15) 第 25 回「震災対策技術展」横浜 (後援)

2021 年 3 月 17 日 (木) ～18 日 (金) にパシフィコ横浜において開催された。

④ 研究の奨励及び研究業績の表彰による学術の発展と科学技術の振興事業 (定款 4 条 4 号)

1) 令和 2 年度日本地理学会賞受賞者を表彰した。

優秀論文部門 (1 名) : 小泉佑介

若手奨励部門 (1 名) : 中川紗智

論文発信部門 (2 件) : 浅田晴久、鈴木晃志郎・于 燕楠

優秀著作部門 (1 名) : 熊谷圭知

著作発信部門 (1 件) : 荒木一視会員ほか執筆者一同

地理教育部門 (1 名) : 荒井正剛

学術貢献部門 (1 名) : 森田 喬

社会貢献部門 (1 団体) : 滋賀県

2) 以下の 3 件について、出版助成を行った。

加藤晴美『遊廓と地域社会—貸座敷・娼妓・遊客の視点から—』清文堂出版

筒井一伸編『田園回帰がひらく新しい都市農山村関係—現場から理論まで—』ナカニシヤ出版

箸本健二・武者忠彦編『空き不動産問題から考える地方都市再生』ナカニシヤ出版

3) 小林浩二研究助成については、新型コロナウイルス感染症のため公募しなかった。

4) 吉野正敏研究助成については、新型コロナウイルス感染症のため公募しなかった。

5) 若手研究者国際会議派遣助成については、新型コロナウイルス感染症のため公募しなかった。

⑤ 資格認定、地理教育の支援等による地理学的知識・技術の普及及び社会貢献事業 (定款 4 条 5 号)

1) GIS 学術士資格認定制度

2020 年度は 3 回の委員会を開催した。2021 年 2 月 28 日現在の GIS 学術士実績証明団体は 30、GIS 専門学術士実績証明団体は 11 である。GIS 学術士 25 名、GIS 専門学術士 0 名、GIS 学術士 (見込み) 42 名の認定を行った。

2) 地域調査士資格制度

2020 年度は 4 回の講習会及び 4 回の委員会を開催した。講習会の受講者は、地域調査士講習会 219 名、専門地域調査士講習会 10 名であった。また地域調査士 19 名、専門地域調査士 7 名の認定を行った。2021 年 3 月末現在、学部科目については 24 大学・27 学科 (コース)、大学院科目については 5 大学院の開設科目が認定されている。さらに、2014 年度から

地域調査士認定に「申請前部分審査」制度を導入し、年度内の認定の適合審査で 99 名が認定された。地域調査士通信を発行した（2020 年 12 月第 12 号）。

- 3) 「G 空間 EXPO2020」（2020 年 12 月 10 日（木））に参加し、「“まんなか” からまちおこし 日本の中心・重心（へそ）を地域資源として」の企画を実施した。オンライン・シンポジウムは 500 名以上の視聴を得た。
- 4) 国際地理オリンピック大会（トルコ）を支援した。トルコ大会は延期となったが、国内大会および来年度の国際大会への派遣に向け、科学地理オリンピック兼国際地理オリンピック選抜試験を支援した。
- 5) 秋季学術大会において、一般市民を対象とする公開講座「自然保護における地理学の役割」（参加者約 50 名）、「総合的学問領域としての地理学の成果と展望」（参加者 70 名）、「新科目「地理総合」をいかに実践するか——地図・GIS を活用して——」（参加者約 130 名）を実施した。また春季学術大会において、「東日本大震災 10 年——防災概念の変革期における地理学」（参加者約 220 名）、「地理・社会科事業実践に必要な教師の力量とその養成——グローバルな教員養成論から考える——」（参加者約 130 名）、「世界地誌学習の新たな方向性——アメリカ地誌から多文化共生社会を考える——」（約 130 名）、「新しい地理教育のスタートに向けて」（参加者約 350 名）を実施した。
- 6) 秋季学術大会および春季学術大会において、高校生によるポスターセッションを実施した。秋季 13 件、春季 30 件。優れたポスター発表に対して賞を授与した。

⑥ 地理学に関連する国際的な研究協力の推進事業（定款 4 条 6 号）

- 1) 日本地球惑星科学連合 2020 年大会
共催セッションとして国際セッション：「Geographic Information Systems and Cartography」、「Environmental Remote Sensing」、一般セッション：「地理情報システムと地図・空間表現」、「環境リモートセンシング」、「ジオパーク」、「災害リスク統合研究の充実」、「人間の社会活動と地球惑星科学」を共催して提案した。
- 2) 第 15 回韓中日地理学会議（後援）
2020 年 10 月 24 日～26 日ソウル大学で開催予定であったが延期となった。
- 3) アジア地理学会代表者会議（The AGA Executive Committee Meeting）
2020 年 10 月 22 日にオンラインで開催された。渉外の一部を担当した。

⑦ その他目的を達成するために必要な事業（定款 4 条 7 号）

- 1) 東日本大震災ほかの災害に対する調査研究および社会貢献事業
- 2) ジオパークに関する調査研究および社会貢献事業

II. 処務の概要

① 役員等に関する事項

令和 2 年度末現在

職 名	常勤・非常勤	氏 名	就任(重任)年月日	担当職務	報酬	現 職	備考
理事長	非常勤	小口 高	令和 2 年 6 月 27 日		なし	東京大学教授	
常務理事	非常勤	呉羽 正昭	令和 2 年 6 月 27 日	総務専門委員長	なし	筑波大学教授	
常務理事	非常勤	松井 圭介	令和 2 年 6 月 27 日	財務専門委員長	なし	筑波大学教授	
理 事	非常勤	梶田 真	令和 2 年 6 月 27 日	総務専門副委員長	なし	東京大学准教授	
理 事	非常勤	堤 純	令和 2 年 6 月 27 日	財務専門副委員長	なし	筑波大学教授	
理 事	非常勤	渡辺 満久	令和 2 年 6 月 27 日	集会専門委員長	なし	東洋大学教授	
理 事	非常勤	平井 誠	令和 2 年 6 月 27 日	集会専門副委員長	なし	神奈川大学教授	
理 事	非常勤	山本佳世子	令和 2 年 6 月 27 日	交流専門委員長	なし	電気通信大学教授	
理 事	非常勤	山田 晴通	令和 2 年 6 月 27 日	企画専門委員長	なし	東京経済大学教授	
理 事	非常勤	須貝 俊彦	令和 2 年 6 月 27 日	広報専門委員長	なし	東京大学教授	
理 事	非常勤	宮澤 仁	令和 2 年 6 月 27 日	E-journal GEO 編集専門委員長	なし	お茶の水女子大学准教授	
理 事	非常勤	松山 洋	令和 2 年 6 月 27 日	地理学評論編集専門委員長	なし	東京都立大学教授	
理 事	非常勤	若林 芳樹	令和 2 年 6 月 27 日	Geographical Review of Japan Series B 編集専門委員長	なし	東京都立大学教授	

理 事	非常勤	井田 仁康	令和2年6月27日	地理教育専門委員長	なし	筑波大学教授	
理 事	非常勤	関根 智子	令和2年6月27日	資格専門委員長	なし	日本大学教授	
監 事	非常勤	石川 義孝	令和2年6月27日		なし	帝京大学教授	
監 事	非常勤	川口 太郎	令和2年6月27日		なし	明治大学教授	

② 職員に関する事項

令和2年度末現在

勤務形態	当期末 (令和3年3月末)	前期末比増減
常勤	1名	0名
非常勤	4名	1名

③ 会議等に関する事項

(1) 理 事 会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和2年6月6日	1. 会員の入退会について 2. 2019年度の事業報告について 3. 2019年度の収支決算報告について 4. 2020年度定時総会の開催について 5. 会長の選任について 6. 役員の選任について 7. 公益社団法人日本地理学会出版助成規程の一部変更について 8. 公益社団法人日本地理学会役員予定者予備選挙規程の一部変更について 9. 公益社団法人日本地理学会賞に関する規程の一部変更について 10. 監査報告	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
令和2年6月27日	1. 理事長および常務理事の選定について	承認
令和2年10月3日	1. 会員の入退会について	承認
令和2年12月19日	1. 会員の入退会について	承認
令和3年3月6日	1. 会員の入退会について 2. 財務報告について 3. 令和3年度事業計画案について 4. 令和3年度収支予算案について 5. 名誉会員候補者について 6. 定時総会の開催について 7. 学会誌編集倫理規程について 8. 2021年度理事会・常任理事会・総会・代議員会日程について	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認

(2) 総会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和2年6月27日	1. 2019年度事業報告の承認に関する件 2. 2019年度収支決算の承認に関する件 3. 名誉会員の推薦に関する件 4. 会長の選任に関する件 5. 役員の選任に関する件	全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認・決定 全会一致で承認・決定

事業報告の附属明細書

該当なし